



子ども家庭支援ソーシャルワーク研修

～困難な家族状況・危機状況に暮らす子どもへの支援をめざして～

貧困や疾病、障がい、介護、地域からの孤立等、多問題を抱える家族の中で暮らす子どもが大勢います。子どもが家事や介護を担い、アルバイトで家計を支えている場合も少なくありません。この研修では、危機的状況に暮らす子どもと家族を支援するために、アセスメントと支援方法を学び、ソーシャルワーカーの実践を通して支援の課題を考えます。

1. 日 時 2020年3月14日（土）13：15～17：00
2. 会 場 埼玉会館3C会議室
3. 対象者 児童相談所、児童福祉関係職員、スクールソーシャルワーカー、精神保健福祉に従事する方、子どもに関連する精神医療等に関心のある方
4. 参加費 2000円（当日受付にてお払いください）
埼玉県社会福祉士会・埼玉県精神保健福祉士協会 会員1500円
5. 定 員 100名（先着順）定員になり次第締め切ります。

〈研修プログラム〉

時 間	内 容
13：00～13：15	受付
13：15～15：00	講演「困難な家族状況・危機状況に暮らす子どもと家族への支援」 ～子どものこころの発達と精神科医療の視点から～ 講師 近藤 直司氏 大正大学心理学科教授（医師）
15：15～17：00	実践報告 島 留美子氏（埼玉県スクールソーシャルワーカー） 長井 さと美氏（北本市地域包括支援センター東センター） 天野 庸子氏（埼玉県精神保健福祉士協会 スクールソーシャルワーク委員会） コーディネーター 坪内 千明氏（東洋英和女学院大学教授）

講師プロフィール；近藤 直司氏



山梨県立精神保健福祉センター所長、山梨県都留児童相談所所長、東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長等を経て現職。著書「医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック」「ひきこもりケースの家族援助—相談・治療・予防」「こころの医学入門 医療・保健・福祉・心理専門職をめざす人のために」「青年のひきこもり・その後～包括的アセスメントと支援の方法論」、「ひきこもり問題を講義する～専門職の相談支援技術を高めるために」他多数。専門職の教育研修等でも幅広く活躍されています。